

2020年度 アメリカコース

所属ゼミ	卒業論文題目—副題—
宇佐見耕一ゼミ	韓国とアルゼンチンの社会保障制度比較 —福祉レジーム論の視角から—
柴田修子ゼミ	メキシコにおけるインターカルチュラルリテラシーチアパス州インターカルチュラル大学の学生から—
和泉真澄ゼミ	「善」と「悪」の狭間に揺れるスーパーヒーロー —21世紀の映画に見る新たなヒーローの枠組み—
和泉真澄ゼミ	「#MeToo」運動からみる性暴力問題 —日米比較の観点から—
和泉真澄ゼミ	Hip-Hop for the World: Global Actor Functionality in Hip-Hop
和泉真澄ゼミ	Anti-GMO Activism and Native Hawaiians : How the Indigenous Perspectives Affect the Activists' Discourses
和泉真澄ゼミ	ハリウッド映画における黒人女性のエンパワメント —ウーマニズムの視点を交えて—
肥後本芳男ゼミ	二大旅客機メーカーと航空業界の再編—大型旅客機による大量輸送時代はなぜ終わったのか—
和泉真澄ゼミ	コリアンタウンとリトル東京の違いから見る各エスニックグループの相違点
肥後本芳男ゼミ	ラストベルトの変貌と米国政治への影響—デトロイトを事例として—
和泉真澄ゼミ	サバルタンからニュー・モデルへ —アメリカ社会の変容からみるフレッド・コレマツ像の変遷—
宇佐見耕一ゼミ	アルゼンチンにおける貧困緩和政策の有効性 —貧困の世代間連鎖を断ち切れるか—
柴田修子ゼミ	メキシコにおける新自由主義政策と女性労働
和泉真澄ゼミ	「仮想水」で水資源を保全できるのか —アメリカ・オガララ帯水層地域の農業を中心に—
遠藤徹ゼミ	スターバックスは本当に“公正な貿易”を行っているのか —国際フェアトレード認証を受ける大企業の実態を京都発フェアトレードショップ「シサム工房」とケニアの薔薇農家を支える花屋「AFRIKA ROSE」との比較から考察する—
和泉真澄ゼミ	人種問題に対する多文化教育の有用性の検討 —『フリーダム・ライターズ』の教育実践から見る—
宇佐見耕一ゼミ	カルデロン政権の対麻薬戦争宣言に対する政府・民間・麻薬組織の各セクターの対応 —ナッシュ均衡理論による分析—
肥後本芳男ゼミ	The Rise of Interracial Marriage and the Second-Wave feminist Movement in the United States
柴田修子ゼミ	Film Induced Tourism: The Case of Mexico
肥後本芳男ゼミ	アメリカのユダヤ人社会の変容—2つのユダヤロビー、AIPACとJ Streetの比較から—
遠藤徹ゼミ	ディズニープリンセスの転換点 —『塔の上のラプンツェル』と『リトル・マーメイド』2作品の比較にみる女性を取り巻く環境の変化—
肥後本芳男ゼミ	カリフォルニア州におけるバイリンガル教育—提案227から提案58への変遷—
遠藤徹ゼミ	アメリカ国内におけるフェミニズム運動と月経処置の歴史との関連性について
柴田修子ゼミ	伝統の継承と変容—クスコにおけるシャーマニズムの心的・霊的意義と観光化—
遠藤徹ゼミ	音楽のデジタル化と音楽配信サービス —Napster誕生の衝撃から—

2020年度 アメリカコース

所属ゼミ	卒業論文題目—副題—
柴田修子ゼミ	プロテスタントソングとしてのラップミュージック
和泉真澄ゼミ	リベット工のロージーの赤い口紅 —化粧を通した新しいアメリカ女性史—
肥後本芳男ゼミ	アメリカ文化の亀裂と文化戦争—エノラ・ゲイ論争を中心に—
柴田修子ゼミ	La Guerra contra el Narcotráfico en México —Los aspectos internos y externos del aumento de la violencia—
肥後本芳男ゼミ	フェアトレード認証ラベルと企業の取り組み—スターバックス社の事例を中心に—
遠藤徹ゼミ	映画『ヘドウィグ・アンド・アングリー・インチ』からひも解くクィアとDIY精神の親和性の考察
和泉真澄ゼミ	絵本から見るLGBTQの受け入れられ方の変遷 —アメリカ図書館協会の推薦図書に焦点をあてて—
肥後本芳男ゼミ	「失われた大義」と南部女性たち—南北戦争戦没者の追悼を中心に—
遠藤徹ゼミ	アップルの持つブランド力 —そのマーケティング戦略を「恋愛モデル」で読み解く—
柴田修子ゼミ	メキシコの「死者の日」—ナショナル・アイデンティティとしての祝祭の形成—
宇佐見耕一ゼミ	二名制が生み出した政治構造とチリ政治の動向—選挙制度と政党システムの視点から—
柴田修子ゼミ	メキシコのストリートチルドレン—政府の対貧困政策とNGOの活動との関連性—